

3 人と自然にやさしい快適なまち【快適環境都市】(3) 住みよい暮らしを支える(住宅と住環境、生活道路、水道、污水対策、環境衛生、墓地・斎場)

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				一次評価																二次評価								
					15年度	16年度	17年度	18年度	主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	評価結果	評価理由										
									指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度								17年度	18年度								
29	相互連絡管整備事業	水道局 水道整備課	○事業開始年度 平成3年度 【概要】災害、事故等の発生時においても、可能な限り市民生活に支障をおよぼさないよう給水の二系統化を図る。 【対象者】給水区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・平成18年度から平成20年度までの3か年で、皇徳寺ニュータウンと星ヶ峯ニュータウンへ二系統化の送水管を整備する。 皇徳寺NTへの送水管 口径400mm、延長2,100m 星ヶ峯NTへの送水管 口径400mm、延長2,100m	—	[概算コスト] 76,858 (内訳) ・決算額 72,997 ・人件費 3,861 (0.90人)	[概算コスト] 118,702 (内訳) ・決算額 113,583 ・人件費 5,119 (1.20人)	[概算コスト] 44,215 (内訳) ・決算額 40,607 ・人件費 3,608 (0.85人)	[概算コスト] 251,085 (内訳) ・予算額 247,901 ・人件費 3,184 (0.75人)	相互連絡管の布設延長 (単位:m)	[目標値] 528 [実績値] 530 <達成率> 100.4%	[目標値] 520 [実績値] 567 <達成率> 109.0%	[目標値] 195 [実績値] 268 <達成率> 137.4%	[目標値] 1,850 [実績値] 2 <達成率> -%	二系統化が図られた対象区域人口 (単位:人)	[目標値] 64,600 [実績値] - <達成率> -%	[目標値] 64,600 [実績値] - <達成率> -%	[目標値] 64,600 [実績値] 37,800 <達成率> 58.5%	[目標値] 64,600 [実績値] 64,600 <達成率> 100%	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 災害時等における給水を確保する手段として二系統化を図ることは必要である。
30	簡易水道等編入促進事業	環境局 環境衛生課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】給水区域内の簡易水道等の、市水道事業への編入促進を図るため、水道局が行う基幹施設整備工事に対して、補助金を交付する。 【対象者】市水道局 【具体的な活動内容】 ・簡易水道等の市水道事業への編入を行うため、水道局が実施する基幹施設整備(配水管布設等)工事に対して、事業費の3分の2を助成する。	市単	[概算コスト] 107,205 (内訳) ・決算額 107,162 ・人件費 43 (0.01人)	[概算コスト] 119,998 (内訳) ・決算額 119,955 ・人件費 43 (0.01人)	[概算コスト] 208,574 (内訳) ・決算額 208,532 ・人件費 42 (0.01人)	[概算コスト] 3,402 (内訳) ・予算額 3,360 ・人件費 42 (0.01人)	市水道局へ編入予定の組合数 (単位:件)	[目標値] - [実績値] - <達成率> -%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 5 <達成率> 250%	編入対象予定組合数(20組合)に対する編入が完了した組合数(累計) (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100%	[目標値] 12 [実績値] 10 <達成率> 83.3%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 地域への飲料水の安定的供給のため、簡易水道等の市水道事業への編入促進は必要である。		
31	簡易水道等編入事業	水道局 水道整備課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】民間の簡易水道や飲料水供給施設について、市水道事業への編入の促進を図るため、基幹施設の整備を行う。 【対象者】民間の簡易水道及び飲料水供給施設使用者 【具体的な活動内容】 ・平成18年度から平成19年度までの2か年で花野地区の簡易水道を編入するための基幹施設整備を行う。 口径100mm、延長480m	—	[概算コスト] 444,189 (内訳) ・決算額 425,954 ・人件費 18,235 (4.25人)	[概算コスト] 195,076 (内訳) ・決算額 179,933 ・人件費 15,143 (3.55人)	[概算コスト] 356,657 (内訳) ・決算額 337,556 ・人件費 19,101 (4.50人)	[概算コスト] 12,468 (内訳) ・予算額 5,040 ・人件費 7,428 (1.75人)	施設整備延長 (単位:m)	[目標値] 3,650 [実績値] 3,242 <達成率> 88.8%	[目標値] 3,880 [実績値] 4,795 <達成率> 123.6%	[目標値] 2,690 [実績値] 5,811 <達成率> 216.0%	[目標値] 240 [実績値] 344 <達成率> 143.3%	編入済給水人口 (単位:人)	[目標値] - [実績値] - <達成率> -%	[目標値] 344 [実績値] 344 <達成率> 100%	[目標値] 1,598 [実績値] 1,598 <達成率> 100%	[目標値] 52 [実績値] 52 <達成率> 100%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 編入により給水の安定化が図られることから、編入を促進するための基幹施設整備は必要である。		
32	枝線管渠整備事業	水道局 下水道建設課	○事業開始年度 昭和27年度 【概要】公共下水道の整備区域の拡大を図り、各家庭や事業所等から排除された汚水を幹線に送るため、汚水管の面的な整備を行うものである。 【対象者】公共下水道事業認可区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・坂之上地区汚水管路施設工事 L=4,286m ・土地区画整理事業区域内汚水管路施設工事 L=6,701m ・処理区域内整備 L=4,009m	国補助	[概算コスト] 866,468 (内訳) ・決算額 812,836 ・人件費 53,632 (12.50人)	[概算コスト] 860,136 (内訳) ・決算額 806,817 ・人件費 53,319 (12.50人)	[概算コスト] 765,172 (内訳) ・決算額 712,113 ・人件費 53,059 (12.50人)	[概算コスト] 882,342 (内訳) ・予算額 82,258 ・人件費 6,367 (1.50人)	枝線管渠布設延長 (単位:m)	[目標値] 12,714 [実績値] 16,759 <達成率> 131.8%	[目標値] 14,327 [実績値] 14,683 <達成率> 102.5%	[目標値] 15,178 [実績値] 13,704 <達成率> 90.3%	[目標値] 14,996 [実績値] 13,704 <達成率> 91.4%	下水道処理区域内人口の増加数 (単位:人)	[目標値] 2,600 [実績値] 2,900 <達成率> 111.5%	[目標値] 2,400 [実績値] 2,200 <達成率> 91.7%	[目標値] 2,900 [実績値] 3,800 <達成率> 131.0%	[目標値] 3,530 [実績値] 3,800 <達成率> 107.7%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 快適な生活環境の確保や公共用水域の水質保全等を図るため、汚水管の面的な整備を行う必要がある。		
33	幹線管渠整備事業	水道局 下水道建設課	○事業開始年度 昭和27年度 【概要】公共下水道の整備区域の拡大を図り、各家庭や事業所等から排除された汚水を終末処理場へ送るため、幹線の整備を行うものである。 【対象者】公共下水道事業認可区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・吉野幹線 L=596.5m ・宇宿5号幹線 L=222m ・宇宿7号幹線 L=159m	国補助	[概算コスト] 139,500 (内訳) ・決算額 122,338 ・人件費 17,162 (4.00人)	[概算コスト] 206,701 (内訳) ・決算額 196,037 ・人件費 10,664 (2.50人)	[概算コスト] 115,621 (内訳) ・決算額 105,009 ・人件費 10,612 (2.50人)	[概算コスト] 88,625 (内訳) ・予算額 82,258 ・人件費 6,367 (1.50人)	幹線管渠布設延長 (単位:m)	[目標値] 453 [実績値] 745.35 <達成率> 164.5%	[目標値] 1,005 [実績値] 959.70 <達成率> 95.5%	[目標値] 1,165 [実績値] 1,156.10 <達成率> 99.2%	[目標値] 977.50 [実績値] 1,156.10 <達成率> 118.3%	排除面積 (単位:ha)	[目標値] 13.88 [実績値] 39.65 <達成率> 285.7%	[目標値] 46.35 [実績値] 45.89 <達成率> 99.0%	[目標値] 112.86 [実績値] 89.66 <達成率> 79.4%	[目標値] 87.95 [実績値] 89.66 <達成率> 102.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市民の快適な生活環境の確保を図るため、各家庭や事業所等から排除された汚水を終末処理場へ送るための幹線の整備を行う必要がある。		
34	谷山処理場施設整備事業	水道局 下水道建設課	○事業開始年度 昭和59年度 【概要】公共下水道処理区域の拡大に伴い、増加する汚水を適正に処理するため、谷山処理場において、計画的に汚水処理施設の増強(新設・増設)を行うものである。 【対象者】公共下水道事業認可区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・水処理施設 746,815千円 ・送風機設備 120,100千円	国補助	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0人)	[概算コスト] 119,541 (内訳) ・決算額 113,143 ・人件費 6,398 (1.50人)	[概算コスト] 848,400 (内訳) ・決算額 825,054 ・人件費 23,346 (5.50人)	[概算コスト] 888,139 (内訳) ・予算額 866,915 ・人件費 21,224 (5.00人)	総合計画期間内における事業費ペースの進捗率 (単位:%)	[目標値] - [実績値] - <達成率> -%	[目標値] 5.80 [実績値] 1.99 <達成率> 34.3%	[目標値] 17.13 [実績値] 16.91 <達成率> 98.7%	[目標値] 32.53 [実績値] 16.91 <達成率> 52.0%	増加する処理能力 (単位:m ³ /日)	[目標値] - [実績値] - <達成率> -%	[目標値] - [実績値] - <達成率> -%	[目標値] - [実績値] - <達成率> -%	[目標値] 7,600 [実績値] - <達成率> -%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市民の快適な生活環境の確保を図るため、計画的に汚水処理施設の増強を行う必要がある。		
35	南部処理場施設整備事業	水道局 下水道建設課	○事業開始年度 昭和50年度 【概要】公共下水道処理施設の適正な機能を確保するため、南部処理場において、計画的に老朽化した機器等の改築・更新を行うものである。 【対象者】公共下水道事業認可区域内の市民 【具体的な活動内容】 ・脱水機設備 198,050千円 ・水処理運転操作設備 147,000千円 ・管理本館高架タンク 24,700千円 ・避雷設備更新 14,700千円	国補助	[概算コスト] 788,122 (内訳) ・決算額 773,105 ・人件費 15,017 (3.50人)	[概算コスト] 497,255 (内訳) ・決算額 480,193 ・人件費 17,062 (4.00人)	[概算コスト] 566,996 (内訳) ・決算額 554,262 ・人件費 12,734 (3.00人)	[概算コスト] 405,607 (内訳) ・予算額 390,750 ・人件費 14,857 (3.50人)	改築・更新及び改良を行う予(決算額) (単位:千円)	[目標値] 659,300 [実績値] 773,105 <達成率> 117.3%	[目標値] 432,520 [実績値] 480,193 <達成率> 111.0%	[目標値] 568,800 [実績値] 554,262 <達成率> 97.4%	[目標値] 390,750 [実績値] 554,262 <達成率> 141.9%	改築・更新及び改良を行った機器数 (単位:箇所)	[目標値] 32 [実績値] 41 <達成率> 128.1%	[目標値] 106 [実績値] 113 <達成率> 106.6%	[目標値] 53 [実績値] 54 <達成率> 101.9%	[目標値] 32 [実績値] 32 <達成率> 100%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市民の快適な生活環境の確保を図るため、南部処理場において、計画的に老朽化した機器等の改築・更新を行う必要がある。		

3 人と自然にやさしい快適なまち[快適環境都市] (3) 住みよい暮らしを支える(住宅と住環境、生活道路、水道、污水対策、環境衛生、墓地・斎場)

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				一次評価																二次評価							
					15年度	16年度	17年度	18年度	主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	評価結果	評価理由									
									指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度								17年度	18年度							
43	獣疫事業	健康福祉局生活衛生課	○事業開始年度 昭和25年度 【概要】狂犬病予防法等に基づく野犬、放し飼い犬等の捕獲や広報紙による飼養者への啓発を行い、野犬等の捕獲頭数の減少と狂犬病の予防、発生時対策を図る。 【対象者】犬の飼養者 【具体的な活動内容】 ・野犬、放し飼い犬等の捕獲 ・市民のひろば等の広報紙での広報(10回) ・広報車による広報(随時)	市単	[概算コスト] 59,456 (内訳) ・決算額 50,532 ・人件費 8,924 (2.08人)	[概算コスト] 62,693 (内訳) ・決算額 53,821 ・人件費 8,872 (2.08人)	[概算コスト] 66,023 (内訳) ・決算額 57,194 ・人件費 8,829 (2.08人)	[概算コスト] 67,255 (内訳) ・予算額 58,426 ・人件費 8,829 (2.08人)	捕獲頭数 (単位:頭)	[目標値] 390 [実績値] 320	[目標値] 380 [実績値] 361	[目標値] 370 [実績値] 443	[目標値] 400	狂犬病の発生防止	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 野犬等の捕獲頭数の減少と狂犬病の予防、発生時対策を図るため、狂犬病予防法等に基づく野犬、放し飼い犬等の捕獲や飼養者への啓発は必要である。
44	犬猫等の飼養者啓発事業	健康福祉局生活衛生課	○事業開始年度 昭和25年度 【概要】狂犬病予防法等に基づく野犬、放し飼い犬等の捕獲や広報紙による飼養者への啓発を行い、野犬等の捕獲頭数の減少と狂犬病の予防、発生時対策を図る。 【対象者】犬の飼養者 【具体的な活動内容】 ・野犬、放し飼い犬等の捕獲 ・市民のひろば等の広報紙での広報(10回) ・広報車による広報(随時) ・狂犬病定期予防注射の実施(4月～6月、市内230会場)	市単	[概算コスト] 7,027 (内訳) ・決算額 373 ・人件費 6,654 (1.56人)	[概算コスト] 7,015 (内訳) ・決算額 393 ・人件費 6,622 (1.56人)	[概算コスト] 7,041 (内訳) ・予算額 419 ・人件費 6,622 (1.56人)	チラシの作成、配布 (単位:枚)	[目標値] 630 [実績値] 630	[目標値] 7,334 [実績値] 7,334	[目標値] 730 [実績値] 697	[目標値] 730	犬、猫の飼養者のモラルの向上(苦情件数)	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	○	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 犬、猫の飼養者に対する糞の処理等についてのマナー啓発は、飼養者のモラルの向上に寄与しており、必要な事業である。		
45	市営墓地施設改良事業	環境局環境衛生課	○事業開始年度 平成1年度 【概要】市営墓地の法面、参道、側溝等の改良及び給水栓の設置を年次的に行い、墓参者の安全確保及び利便性の向上を図る。 【対象者】市営墓地利用者 【具体的な活動内容】 ・年次計画に基づく、参道・側溝整備及び防護柵設置等	市単	[概算コスト] 41,741 (内訳) ・決算額 40,797 ・人件費 944 (0.22人)	[概算コスト] 35,273 (内訳) ・決算額 34,377 ・人件費 896 (0.21人)	[概算コスト] 37,009 (内訳) ・決算額 36,415 ・人件費 594 (0.14人)	[概算コスト] 26,001 (内訳) ・予算額 24,600 ・人件費 1,401 (0.33人)	施設工事費 (単位:千円)	[目標値] 42,906 [実績値] 40,797	[目標値] 37,265 [実績値] 34,377	[目標値] 37,495 [実績値] 36,415	[目標値] 24,600	参道等の改良及び給水栓の設置 (単位:箇所)	[目標値] 6 [実績値] 6	[目標値] 6 [実績値] 7	[目標値] 7 [実績値] 7	[目標値] 7	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 墓参者の安全確保及び利便性の向上を図るため、防護柵の設置等の安全対策や施設の老朽化へ対応することは必要である。	
46	共同墓地助成事業	環境局環境衛生課	○事業開始年度 昭和41年度 【概要】市内にある共同墓地の環境整備、災害防止及び災害防止事業の助成を行うことにより、墓地使用者の負担を軽減し、墓地の環境整備等を促進するとともに使用者の環境整備についての意識の高揚を図る。 【対象者】共同墓地管理組合 【具体的な活動内容】 ・共同墓地が実施する施設の整備等に対して助成 する。(1)環境整備 2分の1 (2)災害防止 3分の2 (3)災害復旧 3分の2 (4)整備統合 改葬許可1件につき2千円	市単	[概算コスト] 10,095 (内訳) ・決算額 7,950 ・人件費 2,145 (0.50人)	[概算コスト] 17,920 (内訳) ・決算額 15,787 ・人件費 2,133 (0.50人)	[概算コスト] 18,333 (内訳) ・決算額 16,211 ・人件費 2,122 (0.50人)	[概算コスト] 44,547 (内訳) ・予算額 42,425 ・人件費 2,122 (0.50人)	補助金額 (単位:千円)	[目標値] 10,819 [実績値] 6,795	[目標値] 15,908 [実績値] 14,254	[目標値] 13,580 [実績値] 11,465	[目標値] 39,162	補助件数 (単位:件)	[目標値] 7 [実績値] 5	[目標値] 12 [実績値] 11	[目標値] 11 [実績値] 10	[目標値] 11 [実績値] 10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 共同墓地の環境整備や災害防止及び災害防止事業の助成を行うことは必要である。	
47	市営墓地環境整備事業	環境局環境衛生課	○事業開始年度 平成10年度 【概要】市営墓地の管理の行き届かない墓地区画等の整理を行い、空スペースを利用し、休憩施設、公衆便所及び駐車場を整備し、墓参者の利便性の向上を図る。 【対象者】市営墓地利用者 【具体的な活動内容】 ・使用者の管理の行き届かない墓地区画の利用者に対する立て札設置、官報公告による管理改善指導等	市単	[概算コスト] 28,300 (内訳) ・決算額 25,726 ・人件費 2,574 (0.60人)	[概算コスト] 35,899 (内訳) ・決算額 33,340 ・人件費 2,559 (0.60人)	[概算コスト] 11,077 (内訳) ・決算額 8,530 ・人件費 2,547 (0.60人)	[概算コスト] 11,754 (内訳) ・予算額 7,934 ・人件費 3,820 (0.90人)	環境整備委託料 (単位:千円)	[目標値] 11,539 [実績値] 11,539	[目標値] 34,570 [実績値] 32,349	[目標値] 8,198 [実績値] 7,667	[目標値] 6,439	対象件数に対する処理件数の割合 (単位:件)	[目標値] 8 [実績値] 10	[目標値] 5 [実績値] 9	[目標値] 5 [実績値] 10	[目標値] 5 [実績値] 10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 墓参者の利便性の向上を図るために墓地区画等の整理などは必要である。	
48	斎場施設整備事業	環境局環境衛生課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】斎場施設の改修を行うことにより、斎場の永続的かつ効率的な維持管理に努める。 【対象者】北部斎場・南部斎場 【具体的な活動内容】 ・北部斎場:外壁調査業務・キャノピー塗装その他工事、待合ロビー・タイルカーペット改修工事、防護柵等設置工事等 ・南部斎場: 火葬炉誘引排風機取替工事(4基)	市単	[概算コスト] 6,777 (内訳) ・決算額 6,648 ・人件費 129 (0.03人)	[概算コスト] 9,527 (内訳) ・決算額 9,314 ・人件費 213 (0.05人)	[概算コスト] 4,611 (内訳) ・決算額 4,484 ・人件費 170 (0.03人)	[概算コスト] 18,452 (内訳) ・予算額 18,282 ・人件費 170 (0.04人)	設備改修工事費 (単位:千円)	[目標値] 6,865 [実績値] 6,648	[目標値] 10,063 [実績値] 9,314	[目標値] 4,678 [実績値] 4,484	[目標値] 16,158	改修済み設備数 (単位:箇所)	[目標値] 5 [実績値] 5	[目標値] 6 [実績値] 6	[目標値] 4 [実績値] 4	[目標値] 7 [実績値] 4	◎	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 年次的、定期的な改修により斎場の長期的かつ効率的な活用を図るために斎場施設の改修は必要である。	